

県提示テーマ一覧（令和5年度）

募集テーマ①

県の分野別施策の中から、NPO等と協働して解決したいテーマ	地域経済循環の促進による地域経済の活性化
上記テーマの課題	県内の中山間地域は、その他の地域に比べて地域経済循環率が低くなっており、多くの支出が地域外に流出している状況。経済を活性化し、地域住民の所得を向上させていくためには、地域外からの外貨獲得だけではなく、稼いだ所得を地域内で循環させていくことが必要。
上記テーマの事業イメージ	<p>地域のもの（材料、燃料、商品、店、人、企業など）を地域で使う（消費する）ことでお金の循環を生み出したり促したりする以下のような取組（以下、例示。）。</p> <p>※活動範囲は中山間地域に限らなくても可</p> <p>①地域のを活用・消費する意識の醸成や行動促進</p> <p>②地域内の原材料調達へと転換していく仕組みの構築</p> <p>③地域経済循環に着目した地産地消を実践する新たな仕組みの構築や取組</p>
県担当課	<p>中山間・地域政策課 中山間・特定地域振興担当</p> <p>電話番号：0985-26-7036</p>

募集テーマ②

県の分野別施策の中から、NPO等と協働して解決したいテーマ	高齢者のデジタル化の推進
上記テーマの課題	<p>社会のデジタル化が急速に進む中で、「誰一人取り残さない」デジタル社会の実現が求められている。</p> <p>このような中、デジタルに不慣れな方が多い高齢者のデジタル化を推進することが喫緊の課題となっている。</p>

上記テーマの事業イメージ	<p>近隣に携帯ショップ等がない地域の高齢者※を対象に、最も身近なデジタルツールであるスマートフォンの操作講習会（電話、SNS、キャッシュレス決済等）を開催する。</p> <p>あわせて、県や県警と連携して、サポート詐欺に代表されるインターネットを使った犯罪防止などセキュリティに関する講習会も開催出来ればと考えている。</p> <p>※国が実施している「デジタル活用支援推進事業」において、携帯ショップ等で高齢者向けのスマホ教室等を開催しているが都市部以外の高齢者は受講することが難しい。</p>
県担当課	<p>デジタル推進課 デジタル基盤担当</p> <p>電話番号：0985-26-7046</p>

募集テーマ③

県の分野別施策の中から、NPO等と協働して解決したいテーマ	全ての自転車利用者に対するヘルメット着用の推進
上記テーマの課題	<p>令和4年に県内では、413件の自転車事故が発生しており、2名の方が亡くなっている。一方で、ヘルメットの着用率は、約10%と非常に低いのが現状である。道路交通法が改正され、令和5年4月から全ての自転車利用者はヘルメットの着用が努力義務となることもあり、自転車利用者自身の交通安全への意識の向上が課題となっている。</p>
上記テーマの事業イメージ	通勤、通学やサイクリング等で自転車を利用している人に対して、交通ルールや自転車の危険性について考えるきっかけを作り、自転車利用者の交通安全への意識を向上させるような事業
県担当課	<p>生活・協働・男女参画課 消費・安全担当</p> <p>電話番号：0985-26-7054</p>

募集テーマ④

<p>県の分野別施策の中から、NPO等と協働して解決したいテーマ</p>	<p>人と猫が共生できる社会をめざして (人も猫も共に幸せプロジェクト)</p>
<p>上記テーマの課題</p>	<p>飼い主のいない猫に起因する苦情は宮崎県全体で年間 1500 件以上寄せられている。そのような苦情に対応する為、近年宮崎県においては官民一体となり飼い主のいない猫に対する不妊去勢手術が進んでいる。この活動には捕獲した飼い主のいない猫を手術が行える施設（動物愛護センター等）へ送迎する必要があり猫の運搬ボランティアが果たす役割は非常に大きいものであるが、運搬ボランティアに対する支援はほとんど無い状況である。飼い主のいない猫対策である不妊去勢手術プロジェクトを継続的・安定的に進めるため、運搬ボランティアに対する支援が必要である。</p>
<p>上記テーマの事業イメージ</p>	<p>運搬ボランティアとして活動を行う団体、個人に対して支援を行う。 運搬費用等の支援を行うことで、県民の運搬ボランティアへの積極的な参加を促し、県下全域での猫の不妊去勢手術プロジェクトを推進することで、人と猫が共に幸せに暮らせる社会作りを目指す。</p>
<p>県担当課</p>	<p>宮崎県動物愛護センター 電話番号：0985-84-2600</p>

募集テーマ⑤

<p>県の分野別施策の中から、NPO等と協働して解決したいテーマ</p>	<p>小林市の若者の人口減少を防ぐ地域づくり</p>
<p>上記テーマの課題</p>	<p>若者にとって進学・就職が地元から離れるきっかけとなっている一方で、Uターンのきっかけにもなっている。地元就職やU I J ターン就職の促進はもちろんのこと、U I J ターン就職したいと思える地域づくりが地方の若者の人口減少を防ぐうえで重要である。</p>

上記テーマの事業イメージ	高校生が、同世代、小中学生を巻き込み地域貢献活動をすることにより、地域に対する愛情・誇り（シビックプライド）を高める人口流出を減少させる事業。
県担当課	宮崎県立小林秀峰高等学校 電話番号：0984-23-2252